

# 経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

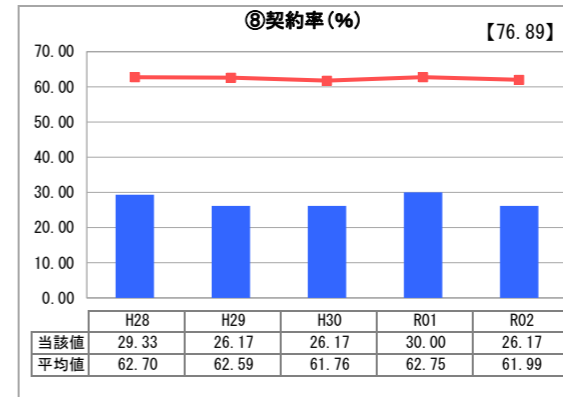
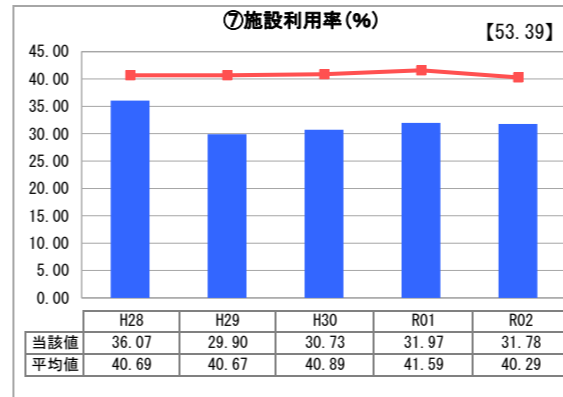
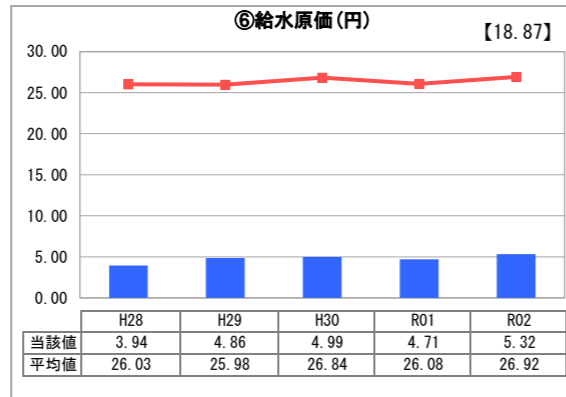
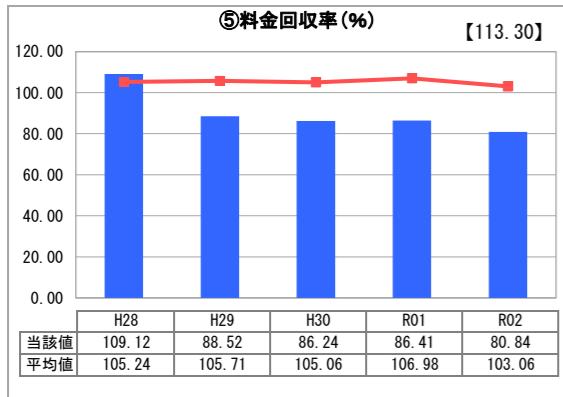
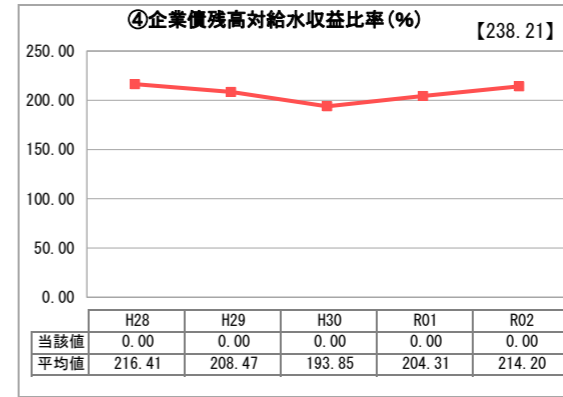
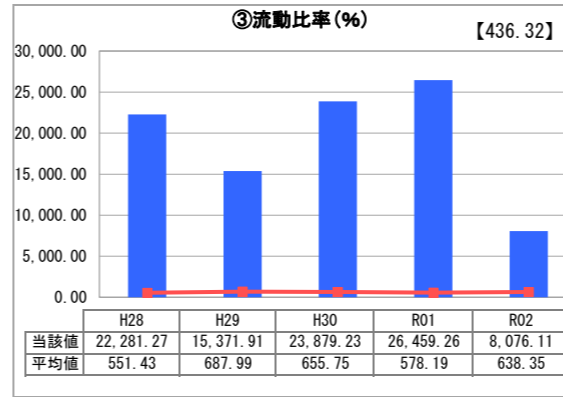
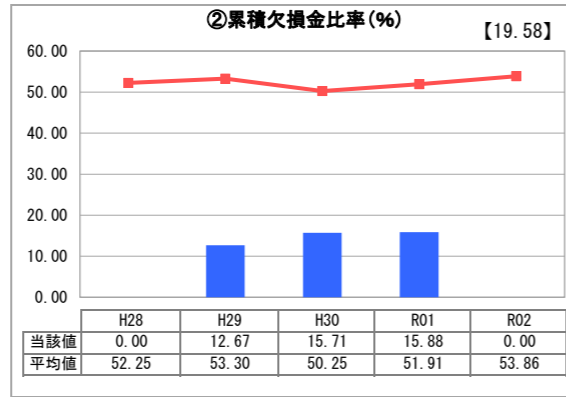
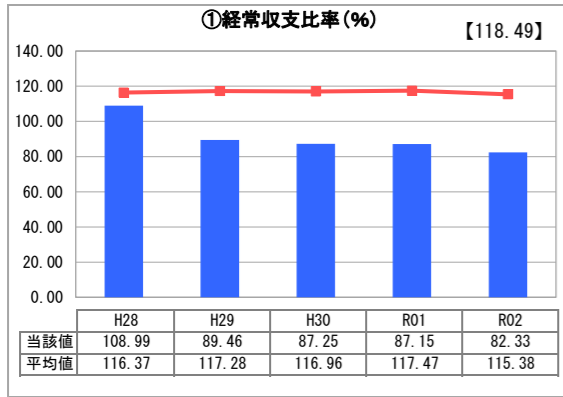
富山県 高岡市  
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m <sup>3</sup> )
法適用	工業用水道事業	60,000	中規模	1	19,068
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m <sup>3</sup> /日)	管理者の情報	
-	95.2	3	15,700	自治体職員	

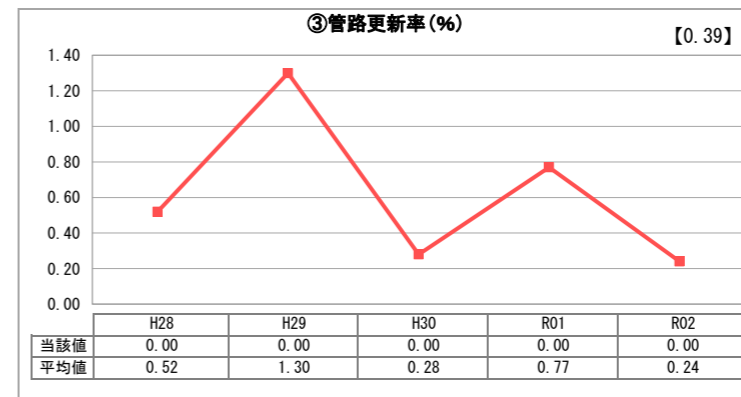
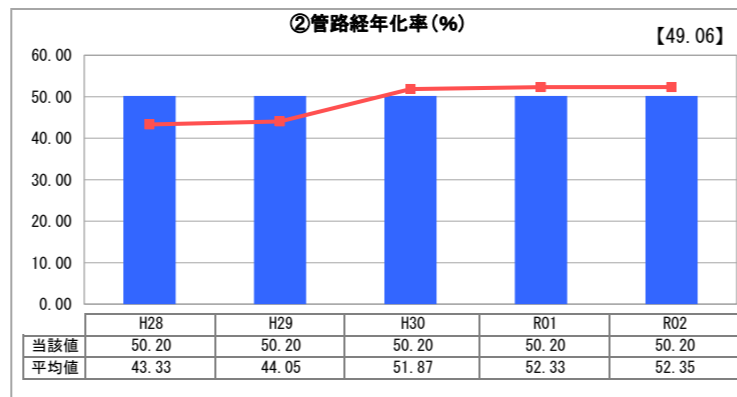
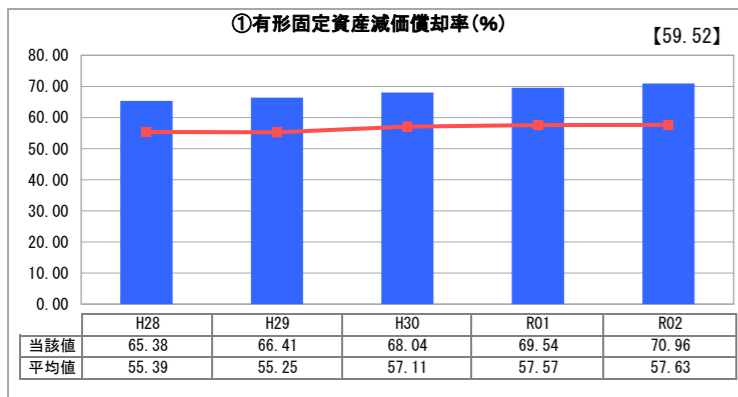
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率及び⑤料金回収率は、供給水量の増量に伴い給水収益が増加した一方、動力費などの費用が増加したため、100%を下回る状況にあり、今後、料金水準の見直しなど経営基盤の強化を図る必要がある。
- ② 利益積立金を取り崩して累積欠損金に充当したことにより、累積欠損金比率は0となっている。
- ③ 流動比率は一年以内の短期債務に対して十分な支払能力がある。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は企業債残高がなく良好な状況である。
- ⑥ 給水原価が供給単価を上回っており、今後は修繕や更新に係る経費の増加が見込まれることから、供給単価の見直しが必要である。
- ⑦ 施設利用率や⑧契約率は、供給先事業者における水のリサイクル化などにより、水需要が減少しており、全国・類似団体平均を下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、年々上昇傾向で推移しており、施設の老朽化が進行していることを示している。
- ② 管路更新率は、法定耐用年数を越えた管路は存在するが、更新に至っていない。今後、事業運営の在り方を踏まえて検討していく必要がある。

### 全体総括

- ・ 経常収支比率や料金回収率が100%を下回っており、経営状況は健全であるとは言えない。収支不足については、利益積立金を取り崩し補填している状況であり、今後、料金水準の見直し、さらには、事業運営の在り方について検討していくことが必要である。
- ・ 今年度、本市の経営戦略である「高岡市上下水道ビジョン」について前期事業目標の達成度など進捗状況を確認しており、令和4年度から始まる後期に向けて計画の見直しを進めている。